

患者の皆様へ

2019年1月24日

血液内科

現在、血液内科では、「移植適応多発性骨髄腫患者における初回採取レジメンによる自家末梢血幹細胞採取不良例の多施設共同後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では多発性骨髄腫と診断され、2008年4月から2018年9月に当院にて自家末梢血幹細胞採取を行った患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「移植適応多発性骨髄腫患者における初回採取レジメンによる自家末梢血幹細胞採取不良例の多施設共同後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

「多発性骨髄腫では自家末梢血幹細胞移植は予後に影響する重要な治療の一つです。本研究では多発性骨髄腫患者さんの幹細胞採取の現状及び治療内容とその成績を解析し、最適な治療戦略を確立することを目的としています」

3. 研究の方法

「多発性骨髄腫と診断され、2008年4月から2018年9月に当院で多発性骨髄腫と診断され当院にて自家末梢血幹細胞採取を行った患者さんの診療情報を、2008年4月1日から2021年12月31日の間において、診療録に記載されている生年月、年齢、病歴、検査結果、治療内容、治療効果、病気の転帰について収集します」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名は一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

外部への資料、情報提供の予定はありません。

6. 研究組織

研究責任者：堺田恵美子 千葉大学医学部附属病院 血液内科
研究分担者：三村尚也 千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部
共同研究者：中世古知昭 国際医療福祉大学医学部 血液内科学
趙 竜桓 千葉県済生会習志野病院
原 暁 千葉ろうさい病院
深澤 元晴 船橋中央病院
杉田 泰雅 大網市立大網病院

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科
本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 血液内科
医師 堺田恵美子
043 (222) 7171 内線5259 (血液研究室)

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科
研究代表者 : 堺田恵美子